

令和6年度 教育計画						学校番号 17	
四国中央市立北小学校							
校長名	友安 敏博	学級数	8 (2)	児童 生徒数	103	教職員数	13

## 令和6年度 四国中央市立北小学校グランドデザイン

### 学校の教育目標

進んで学び 心豊かで、たくましく生きる北小の子どもを育てる



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p><b>1 豊かな心の育成(思いやりのある子)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶、返事、履物の整頓、立腰を意識した規律ある生活態度が育つ環境づくり</li> <li>○ 人権・同和教育を基盤に据えた生きる力の育成並びに「特別の教科 道徳」の充実</li> <li>○ 一人一人の良さを認め合い、励まし合える温かな集団づくり</li> <li>○ 親から子へ、地域へつながる思いを大事にした感謝とぬくもりある人間関係づくり</li> </ul> <p><b>2 確かな学力の定着と向上(すじ道を立てて考える子)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業のユニバーサルデザイン化」による「分かる・楽しい」授業の実践</li> <li>○ デジタルとアナログのベストミックスによる学習指導の一層の改善</li> <li>○ N I E 教育をはじめとした読解力向上のための指導の工夫</li> <li>○ 自主学習の励行による学習意欲、学習習慣の向上と定着</li> </ul> <p><b>3 健やかな体の育成(強い体力のある子)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規則正しい生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ごはん運動）</li> <li>○ 楽しさや達成感を感じられる体育の授業展開の工夫</li> <li>○ 「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」等を活用した、体づくりへの意欲付け</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>年間2回の学校評価を行い、P D C A サイクルによる見取り、改善を進めていく。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p>	<p><b>1 人的管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域への愛情と情熱を持って地域と連携協働する教師集団づくり</li> <li>○ O J T を軸とした、指導力を高め合い、認め合い、共に信頼し合える仲間づくり</li> <li>○ 教育公務員としての自覚と責任の追求（綱紀保持と服務規律の徹底）</li> <li>○ 心身共に健康で生き生きと働くことができる「ワーク・エンゲイジメント（働きがい）」の高まる職場づくり</li> <li>○ コミュニティ・スクールを効果的に活用した業務改善と働き方実践の工夫</li> </ul> <p><b>2 物的管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校施設・設備の管理徹底と定期安全点検による事故・けが未然防止</li> <li>○ 避難訓練等の計画的実施と危機意識の高揚及び防災対策の一層の充実</li> <li>○ 豊かな情操を育む室内外の教育環境整備及び校内美化活動</li> <li>○ 地域コミュニティの場としての学校施設の運用と学校農園等の利活用</li> </ul> <p><b>3 事務管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校務分掌の適正分担と任務遂行の見取り及び支援体制の確立</li> <li>○ I C T の効果的な活用による事務的処理の効率化及び適切な文書管理</li> <li>○ 諸会計・諸帳簿及び個人情報等の適正な処理と管理の徹底</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の継承と展開</p>	<p><b>人権・同和教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教職員一人一人が、部落差別の歴史と現実を正しく理解し認識するとともに、自己の生き方を見詰め、差別に強い憤りを持って、差別解消に臨む気持ちを確かなものにする。</li> <li>○ 教職員一人一人が、常に被差別の立場で物事を見る目を養い、差別の現実に深く学ぶことで、人間のぬくもりを再認識し、自らを高め、差別解消に向けて尽力する。</li> <li>○ 全ての教育活動の中で一貫性を持って差別解消の芽を育てる。</li> <li>○ 生活の中の不合理や矛盾に気付く力を身に付けさせ、差別解消につながる意欲や態度を育てる。</li> <li>○ 「つづり方」等により、温かい心を持って生活でつながり合う集団を育成する。</li> <li>○ 児童一人一人の自尊感情を高め、人権感覚を磨き、差別に負けない、差別を許さない、差別をなくす仲間集団へと導く。</li> <li>○ 家庭や地域等の思いをくみ取り、連携・連帯した人権・同和教育の推進を図る。</li> </ul>